

IER-A 形 誘導形地絡電圧継電器

Type IER-A Induction Type Ground Voltage Relay



第1図
IER-A形 誘導形地絡電圧継電器
(埋込形)

本器は主として、配電線の選択地絡継電器と併用して、一定以上の零相電圧で選択しゃ断させる場合や、また零相電圧が発生したこと自体でしゃ断器を引はずす必要がある場合などに使用される時限付の地絡電圧継電器です。

構造と動作

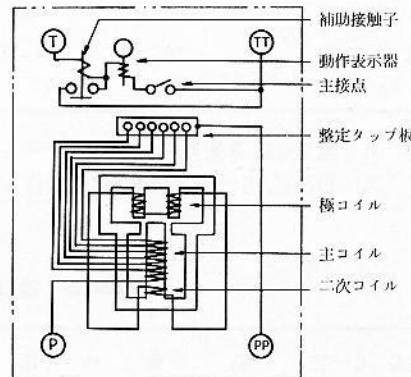
主要部は、変圧器式鉄心に主コイルと極コイルとを相対して巻いた誘導円板形の構造で、反限特性の時限特性をもっています。

本器は、接地変圧器の二次オーブンデルタ回路に接続し、平常時は、線路の零相電圧はほとんど零ですが、地絡故障時、零相電圧が現われて、継電器の整定値に達すると、円板は制御スプリングに打ち勝って回転し、一定時限後主接点を閉路します。その動作時間は地絡故障の程度に応じて発生する零相電圧には反比例しますから、しゃ断器の引はずしに使用される場合には、最適の時限を得ることができます。

接点回路はしゃ断器引はずし用として、補助接触子と動作表示器を備えています。

動作電圧値の整定

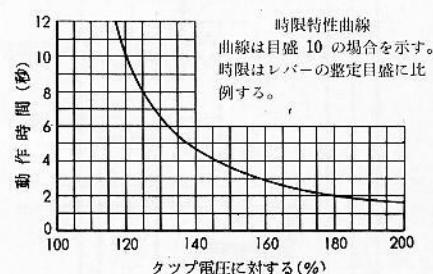
動作電圧値の調整が行なえるよう広範囲のタップを設けています。タップ板には始動電圧値が銘記されており、30—40—50—60—70—80 Vの6タップを設けています。



第2図 内部接続図(裏面)

時限の整定

時限調整ができるよう時限レバーと時限目盛板を備えており、目盛板には0~10の時限等分目盛が施してあります。動作時間は、このレバーを目盛板に合わせることによって、正確に選ぶことができます。第3図の時限曲線はレバー10の位置における電圧と動作時間の関係を示します。



第3図 時限特性

IER 形 誘導形地絡電圧継電器

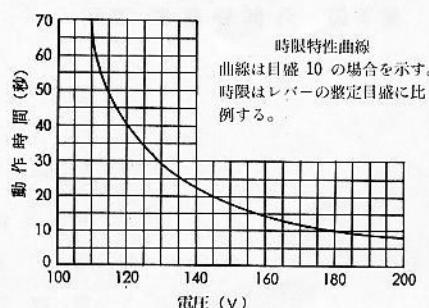
Type IER Induction Type Ground Voltage Relay

本器は、主として、一般配電用の変電所の母線地絡時の保護や、また、配電線選択地絡継電器の後備保護に用いられます。

IER-A形とほとんど同じ構造ですが、特に長時限の反限特性を得るために、歯車機構を有し、また用途上動作電圧は100V1点としています。本器の時限特性を第4図に示します。

動作時限は時限レバーと時限目盛板により適当な時限に調整することができます。

接点回路は引はずし用として補助接触子と動作表示器を設けています。



第4図 時限特性



日新電機株式会社

本社 京都市右京区梅津高畠町 電話京都(86)3151(大代表)
工場 京都・前橋支社 東京・大阪
営業所 名古屋・仙台 出張所 札幌・富山・広島・高松・八幡・福岡

IER-A 形 誘導形地絡電圧継電器標準定格表

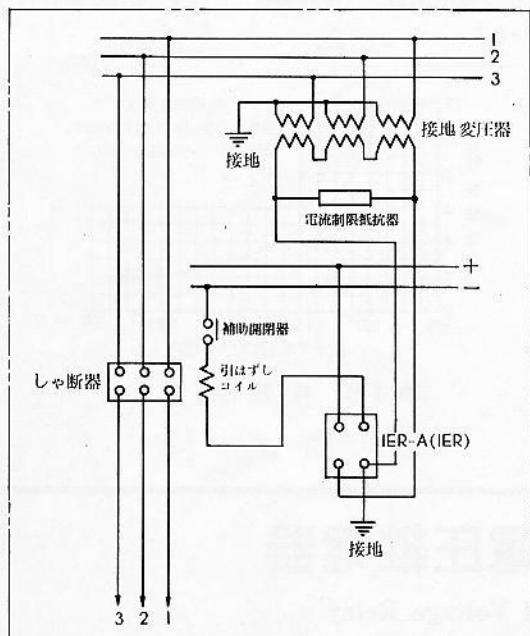
形 式	定 格	電 壓 整 定 範 囲	消 費 電 力	補動接触子表示器	周 波 数	備 考
IER - A	190 V 30 Sec	30 - 40 - 50 - 60 - 70 - 80 V	タップ電圧にて 20 VA	1 A または 2 A	50 % または 60 %	埋込形

- (注) 1. 重量は約 3.9 kg です。
2. 表面形、引出形も標準として製作しております。

IER 形 誘導形地絡電圧継電器標準定格表

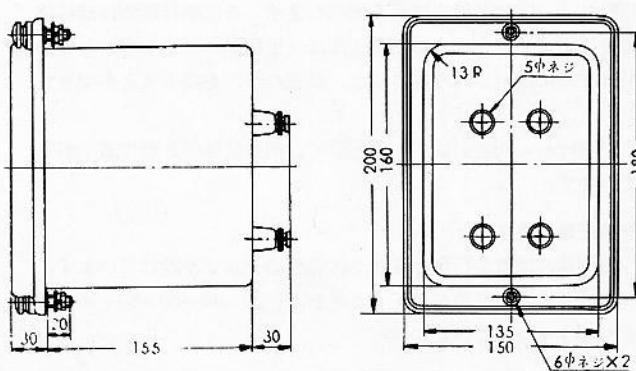
形 式	定 格	動 作 電 壓	消 費 電 力	補動接触子表示器	周 波 数	備 考
I E R	190 V cont	100 V	190 V にて 20 VA	1 A または 2 A	50 % または 60 %	埋込形

外 部 接 続



第 5 図 外 部 接 続 図 (裏面)

外 部 尺 法



第 6 図 IER-A 形、IER 形 継電器外形寸法図 (埋込形)

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形 状 : 埋込形、引出形、表面形の別
2. 用 途 : 使用回路および IER-A、IER の別
3. 周 波 数 : 50、60~ の別
4. 制 御 回 路 : しゃ断器の定格
補助接触子 1、2 A の別
5. そ の 他 : 標準外の仕様がある場合